

児童・青少年演劇ジャーナル

げき 9

新刊!

編集・発行=児童・青少年演劇ジャーナル(げき)編集委員会

定価● 1200円+税

編集代表=ふじたあさや

子どもと演劇のよりよい出会いを求めて――

- 演劇鑑賞は子どもの何を育てるのか?―演劇鑑賞の意義をさまざまな角度から追及。児童・青少年演劇の歴史・広がりを検証。
- いま、どんな劇を子どもに見せれば良いのか?―児童・青少年演劇評、新作紹介、劇団紹介、子どものための劇戯曲掲載。
- 地域の演劇・文化活動をどう育てたらいいのだろうか?―地域の話、先進的な試み、海外の事例などを紹介。
- 児童・青少年演劇演劇創造の課題は何だろう?―演劇創造のための誌上ワークショップや提言を掲載。

【特集】岡田 陽先生の仕事



知性の基は感性にあり=岡田 陽

【座談会】岡田 陽―演劇教育にかけた人生

=方 勝+玉川まや子+岡田純子+(司会・構成)石坂慎二

●全国に表現あそびを…―福祉教育者としての岡田陽先生=鈴木一光

【インタビュー】宮本亜門「今の私があるのは岡田先生のお陰と感謝しています」

【資料】岡田 陽先生の主な仕事・略年譜/著作一覧

【連載】表現教育の現場から (8)

学校にアートは根付くことができるのか?

―「コミュニケーション教育」の現場から=西田豊子

【資料】全国児童・青少年演劇劇団MAP

【劇団訪問】■劇団風の子(東京)■人形劇団クラルテ(大阪)

【初日拝見】劇団うりんこ『ねむるまち』

【劇評】児童・青少年演劇の舞台から

関 明 劇団たんぽぽ『ふしぎの森のヤーヤー』

山崎和男 テフ・パペットシアター・ひとみ『はこ/BOXES』

岩崎 明 劇団ポプラ『シンドバッドの大冒険』ほか

安住恭子 劇団うりんこ『ねむるまち』ほか東海の“国際交流”

神澤和明 往来と関西芸術座の『チンチン電車と女学生』

土居安子 人形劇団クラルテ『サーカスのライオン』

七字英輔 文学座『カラムとセフィーの物語』劇団俳小『ゴルゴダ・メール』

●我々は何を描き いかにか描くべきか
―アジアの児童青少年演劇の課題

【2010アジア児童青少年演劇国際会議】基調報告
=ふじたあさや

●批評対話―日本の児童演劇人だけで
やってみました=松本則子

【報告】海外レポート

●スウェーデン児童・青少年舞台芸術
ピエンナーレを訪問して……上倉あゆ子

●劇団バラッカとポーランドのフェスティバル
―乳幼児演劇芸術の探求の30年
……下山あさき

【受賞】2009年度 日本児童演劇協会賞に大野幸則さん

【受賞】全児演賞/西尾瞬三さん・本間郁子さん・丹下進さん

【インタビュー】自分史としての児童・青少年演劇8
俳優座子どもの劇場誕生から
『森は生きている』上演の頃
中村美代子さんに聞く

【戯曲】
十一ぴきのネコ
子どもとその付き添いのためのミュージカル
井上ひさし
【対談】あこのころの井上ひさしさん
=熊倉一雄+ふじたあさや

【エッセイ】カーテンコール

●常設劇場と海外公演

―劇団がかし座の取り組み……後藤 圭

●演劇部顧問として思うこと
……山下訓弘

【追悼】常に未来を見据えて生き抜いた
土方与平さん=香川良成

【追悼】ありがとう! 丹下 進さん=田中寛次

定期購読をお願いします!
定期購読の方には毎月郵送いたします。
1部あたり 1000円 (税・送料込)

●本誌「げき」の刊行には、社団法人日本児童演劇協会、日本児童・青少年演劇劇団協同組合(児演協)、全国児童・青少年演劇協議会(全児演)の三団体が協同して取り組んでいます。
●定期購読は下記の児演協事務局へお申し込みください。

●定期購読お申し込み・お問い合わせは――

児演協事務局 〒160-0023新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎2-4 TEL**03-5909-3064** FAX**03-5909-3065**

発売・**晩成書房** 〒101-0064東京都千代田区猿楽町1-4-4 TEL**03-3293-8348** FAX**03-3293-8349** mail@bansei.co.jp

注文書

●お申込み先は
児演協事務局
FAX**03-5909-3065**

ご注文	●お申込先 児演協事務局 〒160-0023 新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2-4 FAX 03-5909-3065	
冊	児童・青少年演劇ジャーナル げき 9	
	2011年3月新刊 ●定価 1200円+税	
お名前・劇団名	住所 <input type="text"/>	
劇団の場合 ご担当者名		
電話 ()	メール @	
定期購読について	いづれかに○印をお願いします。 定期購読・()する ・()しない	